

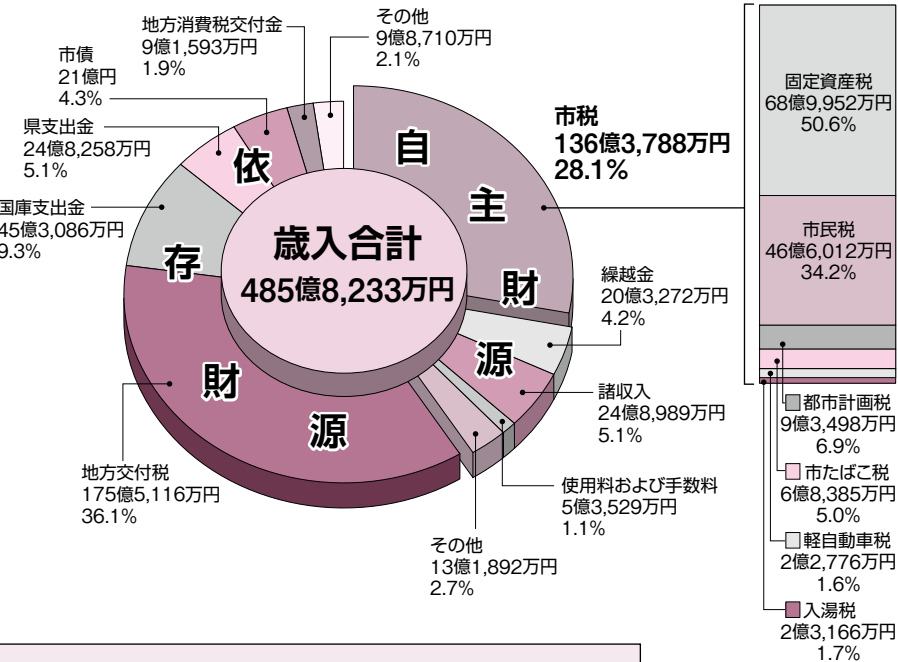


平成25年度

決算報告

市の家計簿ともいえる平成25年度の各会計の決算がまとまりました。皆様から納められた税金や、国・県からの補助金などがどのくらいあり、何に使われたのか紹介します。

歳入(入ったお金)と歳出(使ったお金)の内訳【一般会計】



歳入 ■ 485億8,233万円 (504億8,843万円)
 歳出 ■ 445億4,086万円 (468億5,571万円)
 ※ () は平成24年度決算

平成25年度一般会計決算は、飛騨高山文化芸術祭こだま〜れを開催し、年間を通じた文化芸術の振興に取り組んだほか、合崎橋および若宮橋の架け替えなど安全・安心な道路整備の推進、山岳観光の拠点施設としての新穂高センターの整備、下二之町大新町地区の電線地中化や市街地における鉄塔撤去による景観保全の推進など、総額445億4,086万円を支出し、翌年度への繰越財源14億5,320万円を除いた実質収支は25億8,827万円の黒字となりました。

Topic 財政の用語

- 自主財源** 市が自らの手で徴収、または収納できる財源。市税、使用料、手数料、寄附金などがあります。
- 依存財源** 収入にあたって国や県の関与を受ける財源。地方交付税、国庫支出金、県支出金などがあります。
- 地方交付税** 地方公共団体が等しく合理的かつ妥当な水準で事務を遂行し、財産を管理することができるように、市の財政力に応じて国が交付します。
- 市債** 市がする借金のことで、大規模事業を行う場合、大きな動きをします。

決算にみる市の財政状況

● 財政力指数

財政基盤の強さを表す指標で、基準値を1として、1を超えるほど財政力が強い(豊かである)といえるものです。

高山市は合併直後で0.48になりましたが、平成25年度は0.53でした。